

アスベスト 大山場に向け全力 被告クリオン交渉に応じる

7月21日、首都圏建設アスベスト訴訟第2陣第18回期日が東京地裁103号法廷で行なわれました。この日は塗装工の佐藤英夫さん(江戸川)が不自由な体ながらも車イスに乗り入廷し、一人親方の労働者性などについて証言しました。

東京地裁前では、猛暑の中で支援集会を行ない、主催者あいさつをした野本事務局長は「被告企業では太平洋セメントに続き、8月4日にクリオンが交渉に応じることになつた。たたかひの成果だ。唯一話し合いに応じないエーアンドエーマテリアルは抗議行動を強め突破していきたい。裁判の方では、この秋に集会を終了しました。」

大ヤマ場を迎える。10月27日には東京高裁(神奈川ルート)で全国初の高裁判決が出る。国に勝つのはもちろん、企業にも勝つていきたい。勝利判決をテコに最高裁まで持ち込ませず、補償基金を作らせるために運動を強めよう」と訴えました。



タスキをかけた原告を中心に東京地裁に向けてコール

安倍内閣は退陣を

総がかり行動に3500人

7月19日、月例の総がかり行動で国会議員会館前に3500人(東京土建は75人)の日報を防衛省・自衛隊が隠ぺいしたことを稲田防衛相が容認していたとの報道などもあり、安倍内閣支持率が統落する情勢で行なわれました。



シュプレヒコールする集会参加者

主権者代表で憲法共同セクタの加藤健次さんは「都議選での自民党の歴史的大敗、内閣支持率低下と国会での与党多数は民意とかけ離れたものだ。戦争法成立時のように経済再生という嘘にまかされず、臨時国会開会、安倍政権の退陣を求めよう」とあいさつし、民進、共産、沖縄の風、社民の参議院議員が連帯



笹を採取する江戸川の仲間

江戸川 保育所へ笹贈呈 園児たちが歌で歓迎

【江戸川 書記・中村安彦通信員】江戸川支部では、毎年、区内保育施設に、七夕笹配布・贈呈をしていきます。今年は126カ所に届けました。この取り組みに、江戸川区保育課の協力も得ています。笹を配布する保育所を江戸川区子ども家庭部保育課が集計し、それを受けて私たちが笹の採取と配布を行ないました。

品川 八丈島で健康診断 特定健診の受診率も高く

【品川 冷暖房・小林紀久夫 記】八丈島分會では集団健康診断が7月6日に実施されました。7月に入ってから5日連続で飛行機が全便欠航し、当日

館前に移動して総がかり行動の参加者を威嚇するような行動をとっていましたが、毅然として集会を行ないました。



八丈島分會の健康診断会場

新委員長に菅原さん 都連大会に新都議も挨拶

【全建設 労働組合総連合(以下全建総連) 東京都連合会】7月21日、荒川区のホテルラングウッドで第57回定期大会を開催しました。出席者総数は217人(東京土建123人)でした。全建総連の勝野書記長が中央情報報告を行いました。また来賓で都議が多数出席。

今月の主張

許すな残業代ゼロ制度

国会で継続審議中の残業代ゼロ制度(高度プロフェッショナル制)導入と企画型裁量労働制拡大を含む労働基準法改正案について、連合が法制化を前提に政府へ修正を要請することに批判が集中しました。傘下の労働組合からも批判が相次ぎ、今回の修正を見送る方針へ転換すると伝えられています。

国会で継続審議中の残業代ゼロ制度(高度プロフェッショナル制)導入と企画型裁量労働制拡大を含む労働基準法改正案について、連合が法制化を前提に政府へ修正を要請することに批判が集中しました。傘下の労働組合からも批判が相次ぎ、今回の修正を見送る方針へ転換すると伝えられています。